

日本共産党の 躍進で 1議席→2議席 戦争法案ストップ



日本共産党
ひたちなか市議会議員

山形ゆみ子

再び戦争はしないと定めた憲法9条

今年は第2次世界大戦が終結して70年の節目の年です。日本の侵略戦争によって310万人以上の日本国民と、2000万人を超すアジアの人々の尊い命が失われました。その深い反省から、再び戦争はしないと決意し憲法9条が生まれました。

戦争する国づくりに突き進む安倍政権

ところが安倍政権は、「安全保障環境の変化」により法整備が必要だとして、日本の自衛隊が海外で「武力行使」をすることを認めることや、後方支援の名のもとに戦闘地域まで行って、アメリカ軍への軍事支援をおこなうことを可能にする法律を、国会に提出しました。安倍首相は、「国民を守るための法整備だ」と言っていますが、議論が進めばすすむほど、アメリカと一緒に戦争をするための「戦争法案」だということが、誰の目にも明らかになっています。安倍首相は「私の言っていることは正しい」の一点張り。国民を守る責任ある首相と言えるでしょうか。

「戦争は絶対駄目だ」と言い続けた父

わたしの父は今年の4月に93歳で亡くなりましたが、戦争で中国にかり出された自らの体験から「正義の戦争などない。戦争は絶対駄目だ」と言い続けました。この思いは多くのみなさんの思いなのではないでしょうか。

戦争が起これば、真っ先に犠牲となるのは前途ある若者です。若者たちにこんな不安な未来を手渡すわけにはいきません。

議員の役割は「いのちと暮らし」を守ること

市民のいのちと暮らしを守ること、これが議員に課せられた一番の役割です。わたしは、命がけて戦争反対を貫いてきた唯一の政党である日本共産党の議員として、「戦争法案」廃案に全力で取り組んでまいります。力を合わせていきましょう。

プロフィール ◇1950年宮城県蔵王町生まれ。茨城大学工業短期大学部卒。ひたちなか市議2期目。

【現在】日本共産党ひたちなか市委員長

【家族】夫、高野536-5在住。

電話 (285) 3774

yamagatayumiko@ybb.ne.jp

【主な活動地域】

佐野中・三中学区、那珂湊地域



日本共産党
子ども・子育て相談室長

宇田たか子

【主な活動地域】

一中・二中・田彦中・大島中学区
(上記学区内の高場、後野、上野、東中根団地は除く)

今、言わなければ 私も戦争法案に反対です

多くの人を巻き込む戦争
わたしは中国大陸に出兵し終戦となった。1年かけてやっと帰国できたが、その時が一番苦しかった。これは体験した人でないと分からない。
多くの人が犠牲になる戦争は絶対あってはいけない。
(中根 93歳 男性)

今でも目に浮かぶ母の姿
艦砲射撃で母が犠牲となった。苦しむ母が今でも目に浮かぶ。14歳で母親の代わりとなり家族の面倒を見たがそれは大変だった。
政治家は国民を大事にして戦争だけはしてほしくない。
(中根 84歳 女性)

兄が出兵、犬や猫も犠牲に
12歳の時に2人の兄が戦争に行かされ、ペットにしていた犬・猫まで軍人服の毛皮として取られました。暮らしを一変させてしまう戦争と、それに繋がる戦争法案に反対です。
(牛久保 83歳 女性)

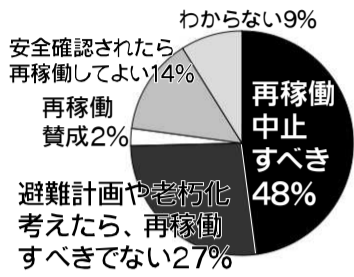
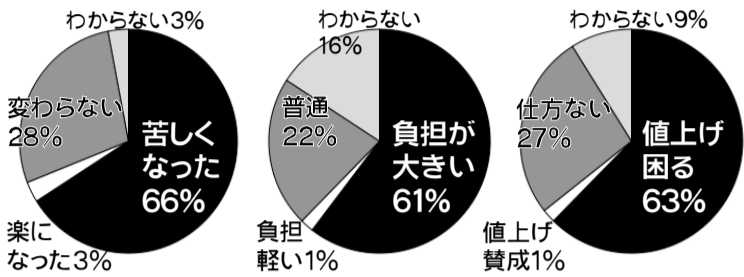
平和を子どもに残したい
平和をどう守るか論じられています。が、武力以外で守る方法、それを示すことが大切だと思います。
憲法9条が70年もの平和を生んだと信じています。いまある平和を自分の子どもにも残していきたいです。
(足崎 1児の父 26歳)

戦争法案、他人ごとではない
後方支援として弾薬や武器の輸送をしたら、逆に攻撃を受けてしまう。そんなことも分らないなんて安倍首相は何を考えたのか。
いつでも戦争で犠牲となるのは一般市民です。他人ごとではありません。
(高野 35歳 女性)

アンケートへのご協力ありがとうございました

「苦しくなった」が 66% 日本共産党ひたちなか市委員会のアンケート結果

日本共産党ひたちなか市委員会の実施した「市民アンケート」には、増大する市のためこみ金（基金）とは裏腹に、切実な声がぎゅっと寄せられています。



日本共産党 山形ゆみ子(左)・宇田たか子(右)

戦争法案反対緊急パレードに参加（水戸市）

現在の暮らし 国保税の負担 水道料金の値上げ

東海第二原発

議員や議会に求めること

税金の使い方を換え 暮らし優先の市政へ

市民の暮らしを犠牲に、135億円も「ためこみ」

自民・公明・民主が支える市政は、常陸那珂港などの無駄な開発のために税金を使い、一方で小中学校の耐震化が県内一遅れ、生活道路や学校のトイレの改修など、市民の願いが置き去りにされています。

また、3年に一度の介護保険料の改定では基準額で年間4,608円の値上げ。10月から水道料金が18.4%値上げされます。

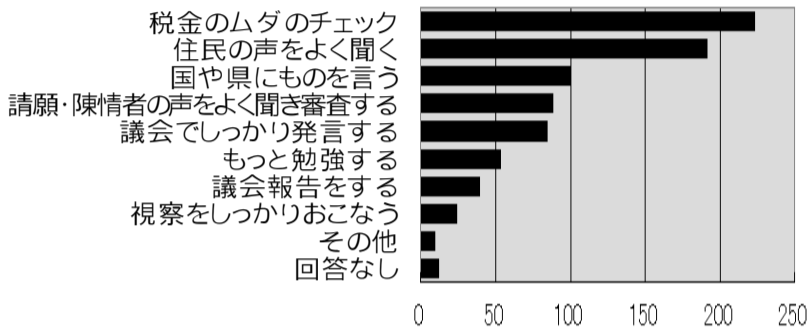
市民の要望には耳を傾けず、さらに職員削減で行政サービスを低下させながら、積み立てられた市のためこみ金（基金）は、135億円と過去最高にふくれあがっています。

このお金を市民のために使えば、いのち・暮らし・子育て最優先の市政に変えることができます。

県内主要4市のためこみ金

（財政調整基金・減債基金の合計 2013年度決算）

日立市（県内1番目）	181億円
ひたちなか市（県内2番目）	135億円
水戸市	84億円
つくば市	49億円



市民のいのち・暮らし守って 市政動かす日本共産党

市民の代弁者として議会ごとに毎回質問し、市民の願い実現のため力を尽くしてきました。

■東海第二原発の再稼働中止を求める

老朽化している東海第二原発の再稼働中止を求め、毎回議会で質問してきました。

【市長答弁】市民の安全が確保されない限り再稼働はできないものと認識する。

■学校給食の民間委託をストップ

署名を集め、勝田地区学校給食の自校方式を守り、民間委託をストップさせました。那珂湊地区は今後センター方式から自校方式に移行します。

■子どもの医療費助成、中学卒業まで実現

安心して子どもを育てられるよう、子どもの医療費助成を求め続けてきました。この4月から、外来も入院と同じように中学卒業までの医療費助成が実現しました。

議案に対する態度（賛成○ 反対×）

請願、議案	共産	自民	公明	民主	社民	無所属
消費税増税中止を求める請願（2014年12月議会）	○	×	×	×	×	×
介護保険料値上げ条例（2015年3月議会）	×	○	○	○	○	○
水道料金値上げ条例（2015年3月議会）	×	○	○	○	○	○

この願いにこたえてがんばります

1から2議席で 願い実現に全力

日本共産党

- 東海第二原発の再稼働ストップ、廃炉に
- 子ども・子育て支援、保育・学童保育への支援・拡充
- 国保税、介護保険料・利用料の引き下げ
- 高校卒業までの医療費無料化
- 小・中学校の環境整備（マンモス校の解消、トイレの改修、普通教室のエアコン設置など）
- 一人ひとりが大切にされる教育の充実
- 住宅・店舗リフォーム助成制度の実現
- 10月からの水道料金値上げ中止を
- 消費税10%増税ストップ



日本共産党演説会

● 九月二〇日（日）午後二時～
 ● ワークプラザ勝田
 ● 弁士 衆議院議員 梅村さえこ
 市議会議員 山形ゆみ子
 子ども・子育て相談室長 宇田たか子